

山本さん(明石)最優秀

少年の主張県大会「思いやり大切」

中学生が自分の考えを発表する「少年の主張県大会」で、沖繩の戦跡から平和について考えた明石市立江井島中3年、山本千晴さん(14)が最優秀賞に輝いた。明石市役所で泉房穂市長と面談した山本さんは「私と同じ世代に、戦争がいけないことだと伝えたかった」と話した。

大会では「私達にで



泉房穂市長(左)と懇談する山本千晴さん＝明石市役所で

表。修学旅行で訪れた沖繩の平和の礎やガマ(自然洞窟)での見

きること」と題して発表。9月にあった県大会には69校の8411人が応募。11月の全国大

聞を振り返り「70年ぐらい前の出来事なら遠い昔のことではないと思った。戦争は人に何かを押しつけるイメージがある。学校や日常生活といった身近なところから、思いやりが大切だと思う」と話した。山本さんは生徒会放送委員長を務め、中学の国語教師を目指している。

会(東京都)は都道府県代表から発表者が選考される。【浜本年弘】